

ゆるやかな坂の途 中の家　　ちよつと 怖い話

※この作品は著者の想像などから作ったフィクションであり、内容などは架空のものです。

地元の田舎街。街というよりは集落か。

駅前通りへ行くゆるやかな坂の途中の家で

自死事件が二件ほどあった。

同じ家族であった。

死んだ彼は、

死ぬ前に頭をモヒカンにしていたらしい。

．．．．．俺は一度その家の女性と仲良くなり

家に遊びに行ったことがある。

・・・・・・・・昔はお金持ちだった。

資産家の没落。よくある話か。

・・・・・・・・・・過去の栄光が華やかであればあるほど・・・・・・・・・・というような。

彼女は病院に通い、空虚な妄想に支配されていた。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。